

研究の全体構想図

- ・憲法・教育基本法
- ・小学校学習指導要領
- ・さいたま市学校教育ビジョン
- ・さいたま市の学校教育推進の指針・指導の努力点

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

- ・本校児童の実態
- ・学校・地域の実態
- ・家庭の願い
- ・教師の願い
- ・今日的課題

研究主題

思いや考えを深め、豊かに伝え合う中尾っ子の育成
～基礎基本の定着を図り、表現力を高める指導の工夫～

目指す児童像

自らの学びを実感し、主体的に学ぶ子

思いや考えを表現でき、自分の考えを深めることができる子

次期学習指導要領では能力の向上までをねらいとしているため、自分にどんな力がついたのかを自覚できるところまでを目指したい。

対話的な学びや表現力を高める学習などを通じて自分の考えを深めることができる児童を目指した。

研究の仮説

単元を通して付けたい力を明確に示し、それに応じた言語活動や評価を行うことで、自らの成長を実感しながら主体的に学ぶことができるのではないか。

基礎基本が身につくよう学習指導を工夫したり、計画的に児童が関わり合う活動を行ったりすることで、思いや考えを表現する力が高まるとともに考えを深めることができるのではないか。

研究の視点

視点1

自らの学びを実感し、主体的に学ぶ指導と評価の工夫

- ・見通しをもち、主体的に学ぶための工夫→主体的な学び
- ・付けたい力に応じた言語活動の設定 →学びの実感
- ・評価の工夫 →学びの実感

単元や授業で身についた力が実感できることで主体的に学習に取り組めるのではないか。

視点2

表現力を高め、自分の考えを深める指導の工夫

- ・学び合いの充実(自己、他者、本などの対話)
→対話的な学びを通し自分の考えを深める
- ・モデル学習の活用
→基礎基本を身につけ表現力を高める
- ・語彙を増やす工夫→表現力を高め、学び合いを深める

表現力を高めることや対話的な学びを充実させることで学びを深めることができるのではないか。